

「（仮称）桐ヶ丘区民センター整備方針についての住民説明会」
ご質問・ご意見及び回答

No.	ご質問・ご意見等	回答
施設全体に関するご質問・ご意見等		
1	現在の施設に対して、新たに区民センターに入るそれぞれの施設がどれくらいの大きさになるのか。	図書館やホール等の施設の規模については、令和6年度以降の設計で検討していきます。
2	若い人とお年寄りが触れ合う場がほしい。多世代が楽しく交流できる場所にして欲しい。	例えばイベントでキッチンカーが出店できるスペースを設ける等、多世代の幅広い利用者の居場所となる開放的な施設となるよう検討していきます。
3	整備方針にDX（デジタルトランスフォーメーション）への対応について記載されているが、施設の電波状況はどうなるのか。	施設内におけるLAN環境の整備について十分に検討し、利便性の向上を図っていきます。
4	駐車場、歩道橋を整備する予定はあるか。	駐車場の整備は計画していますが、台数や規模等は今後の設計で検討していきます。歩道橋は東京都の管轄となりますが、撤去するなどの話は現時点では聞いていません。
5	施設の名称を「防災コミュニティセンター」といった名称に変更を検討してほしい。	本施設は、地域の防災面及び安全面に関する機能を有することを踏まえつつ、周辺区有施設の複合化や、区民が集いにぎわう魅力ある施設とすることを整備目的としていることから、現時点では（仮称）桐ヶ丘区民センターとしております。いただきましたご意見は、施設に関するご意見として参考にさせていただきます。
図書館に関するご質問・ご意見等		
6	現在の赤羽西図書館はバリアフリーになっていないので改善を期待している。移転後の図書館では本が並べられているだけでなく、利用者同士で本の感想を述べ合うような場があるとうれしい。	バリアフリーに配慮した整備を検討していき、また多目的に使用できる共有スペースの整備等も検討していきます。
ふれあい館に関するご質問・ご意見等		
7	島下ふれあい館は利用者が多いので、地域に活動の場所がなくなるのは不便である。また、桐ヶ丘まで来るのは大変であるので整備計画自体を考慮してほしい。	島下ふれあい館及び桐ヶ丘ふれあい館については、それぞれ築年数が相当経過しているとともに、公園内に立地しているため現地での建替えが難しい状況です。二つのふれあい館を統合することになりますが、耐震化やバリアフリーに配慮した整備を検討していき、現在のふれあい館利用者の活動の場を確保できる施設となるように努めてまいります。なお、ふれあい館の集会コーナーは有料ですが、高齢者福祉コーナーは無料です。
8	二つのふれあい館について統合後も面積を確保するとのことだが、有料になってしまうのか。島下ふれあい館の利用者が多い事実がある。大きな道路を渡って行かないといけないのは不安である。公園内での改修が困難であれば赤羽西の地域のなかで耐震化、バリアフリー改修ができる場所を確保するべきだと考える。区として暖かい対応を示して欲しい。	

No.	ご質問・ご意見等	回答
施設の設備・機能等に関するご質問・ご意見等		
9	浴場は整備されるのか。	
10	災害対応の拠点となる施設になってほしいという意見を受け止めて欲しい。また、高齢化率の高い団地周辺の住民として身体的に入浴することが怖いので、安心して入浴できる場が欲しいという意見は受け止めてほしい。	当該施設は、整備方針に記載のとおり、周辺区有施設である図書館・ふれあい館・授産場の複合化を図り効率的に一元管理する、という考えのもとに整備する予定です。 区有施設として浴室・浴場を設置している「老人いこいの家」については、区の方針として増設を考えていないことから、当該施設への浴室・浴場の設置は検討しておりません。
11	当該施設が災害拠点の施設になるということを考えると、浴場の整備やBCP対応に関して整備方針にもっと内容を盛り込んで欲しい。	
12	高齢者の死亡率が高い場所は浴室である。浴場を整備するよう計画を見直して欲しい。	
13	区民農園を整備して、区民の方が土に触れる楽しさを提供して欲しい。	
14	非常時に炊き出しなども可能なキッチンの整備、配膳台等も備品として用意してもらいたい。	システムキッチンについては、他のふれあい館にも設置されているので整備を検討しています。ただし、利用者が制限されてしまう専用設備などの整備は難しいため、区民センターとして相応しい設備を今後の設計で検討していく予定です。
その他のご質問・ご意見等		
15	施設整備の進捗状況を動画配信などで報告してくれると良いと思う。	進捗状況の報告の実施については今後検討いたします。いただきましたご意見は、その際の参考にさせていただきます。
16	防災に関することなどは女性の視点なども大切なので、今後きめ細かい設計を検討して欲しい。また、防災拠点にもなるということなので、防災関係の部署とも連携して欲しい。	防災対応等については、区の担当部署を含め、広く意見を聞きながら設計を進めていきたいと考えています。
17	施設の整備については、（住民と区の）お互い意見を出し合って進めていきたい。	今回は住民説明会ということで、主に区の方から整備方針について説明いたしました。今後については、令和6年秋頃を目安として、手法等を検討のうえ対応してまいります。
18	今後、意見交換の場を検討するということだが、いつ頃の開催を予定しているのか。	ワークショップを一例として、令和6年秋頃を目安として、手法等検討のうえ対応してまいります。